



議会だより

おやま 町議会

No.123



艶やかに3,000株のあじさい咲き誇る
湯船あじさいまつり!! —2ページに表紙説明—

6
月
定
例
会

- **個人情報保護条例の改正** 2
- **町政のここが聞きたい** 一般質問に5人 4
- **私からの提言** 10

6月定例会

平成22年第4回6月定例会が6月2日から15日まで、会期を14日間として開催されました。
今定例会には当局から、繰越計算書の報告及び条例の改正、補正予算、町道路線の認定など9議案が提出され、審議の結果、いずれも原案どおり可決されました。

災害時の避難支援のため情報を共有化

個人情報保護条例の改正

改正の趣旨は

地震や風水害などの災害時に要援護者の避難支援を行うためには、平時時から自主防災組織や民生委員などと要援護者の情報を共有しておくことが重要である。避難支援活動をより迅速かつ適切に行うことを目的として改正するものである。

して、個人情報を使用することも考えられるがその対応は。

A 今回の改正は、「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」を基に取り組むものです。個人情報保護する趣旨は変わりませんが、1つの方法として情報を提供する際には協定などを交わした方がよいと示されています。自主防災組織などでは、守秘義務を確保することが重要であるため、担当課(福祉課、生活環境課)で協定を結び対応する予定しています。

Q 緊急避難の場合には、高齢者や体の不自由な方を助けるために情報を共有することは必要であると思うが、ほかの場合に「本人の利益になる」と勝手に判断

た。

※賛成多数で可決されました。

その他の条例改正

小山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

育児または介護を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限について改正するものです。

小山町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児と仕事の両立を図るため、職場全体で支援することが重要であるという趣旨から行う改正です。
※2つとも全員賛成で可決されました。

新しく町道2路線を認定

町道3975号線
(一色1777番25地先～大御神602番3地先)
長さ 2千800m
幅員 9.8m

新東名高速道路建設に伴い、側道部分を整備する際に、補助事業として採択されるよう町道として位置づける必要があるため認定。

町道1650号線
(菅沼721番1地先)
長さ 42.5m
幅員 6m～10m

旧駿河幼稚園内の町有地へ隣接の所有者の協力のもと宅地分譲するため町道を新設。
※全員賛成で可決されました。



▲総務建設委員会現地視察(新東名路線通過箇所)

表紙写真は…
6月19日(土)、湯船公民館前の広場をメイン会場に湯船区、小山町観光協会の共催で「第1回金太郎湯の里・湯船あじさいまつり」が開催されました。湯船区を中心に老人会、婦人会、スポーツ委員会などの皆様が協力し合い、また、町内外の音楽団体などの出演により賑やかな「あじさいまつり」でした。まじくりの原点を垣間見ることができ、これからの活動が大いに期待できるイベント風景でした。

**補正
予算**

**養護老人ホームの建設事業費に交付金
～平成23年度から20年間～**



▲養護老人ホーム福寿荘のみなさん

一般会計補正予算は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億9千775万円を増額し、予算総額を91億775万円とすることを全額賛成で可決しました。

町の養護老人ホーム福寿荘の指定協理をしている社会福祉法人寿康会が、今年度から大の平町営住宅跡地に養護老人ホームと併設の特別養護老人ホームを建設することとなっている。その養護老人ホーム部分の建設事業費にかかる借入元利償還金のうち、県の補助金を除いた2億円を限度とし、平成23年度から平成

42年度までの20年間にわたる債務負担行為を設定し、交付金として支出するものである。

債務負担行為とは？

町が支出する経費は、歳出予算に計上することになるが、その経費の性質上、支出予定やその額が不確定、来年度以降にわたるなどで歳出予算に計上できない経費もある。この場合、特例として事項、期間、限度額を明示した予算として議会の議決を経て契約締結ができるものとされている。

主な事業は

特別養護老人ホーム建設費へ補助

1億1千890万円

社会福祉法人寿康会が、特別養護老人ホームを建設するに当り、県からの補助金を支出するもの

鳥獣害防止対策事業費へ補助

100万円

新築地区で鳥獣から農作物を守るための事業で、事業費300万のうち3分の1の100万円を県が補助するもの。

森林整備・林業等振興施設整備

7千500万円

棚田工業団地に町内業者が、木質ペレットの製造工場を建設するにあたり国からの交付金を支出するもの。

寄附により小中学校の備品を購入

210万円

長田栄様からの寄附により明倫小と小山中の校用器具を購入。勝又洋様の寄附により北郷小と須走小の図書を購入するもの

9月議会のお知らせ

- ◆ 9月議会を次のように開催する予定です。
 - ◆ 9月7日 町長から提出議案及び平成21年度の決算についての説明、監査委員からの監査結果報告
 - ◆ 9月8日 平成21年度決算について質疑
 - ◆ 9月10日 一般質問
 - ◆ 9月15日 総務建設委員会
 - ◆ 9月16日 文教厚生委員会
 - ◆ 9月22日 常任委員会委員長の見聞結果報告、質疑、採決
- ※変更になる場合があります。



一般質問に5人の議員が町の方針をただしました

池谷洋子 議員

1. 障がい者の就労支援について
2. 地域活性化へ観光（タクシー、マイクロバス）の運行を

藺田豊造 議員

まちづくりに対する町長の姿勢について

岩田治和 議員

公会計にバランスシートの導入について

岩田潤泉 議員

1. 顧問弁護士の活用について—田中靖男弁護士は無能であったのか否か
2. 金時公園遊歩道最上部海拔414.6m地点より生土へ下りる町道1050号線の長さや幅員と総面積と平成7年度より平成18年度までの管理状況を問う

鷹嶋邦彦 議員

1. 観光行政計画について
2. 光デジタル回線ネットワークの町内敷設網計画について

町政のマネジメントが聞きたい!!

● 一般質問 ●



▲総合文化会館内の喫茶コーナー（カフェ アップル）



池谷 洋子

Q 町の行事の記念品に授産施設の製品を使用
しては

A 予算に見合うものがあれば積極的に検討

Q 昨今の不況で障がい者の方が働く事業所への受注が減少しています。そこで町の行事（成人式・敬老の日）などの記念品に授産施設の製品を使用したらと考えます。障がい者の方も働く喜びや励みになりますし製品も多くの人に知ってもらえます。又、学校や各自治体などの行事の記念品にも使用したらと考えますが町の見解を伺います。

A 町長 障がい者の方が働く喜びや励みを感じていただくことは、大変重要なことだと考えています。そのため授産施設の作業場所の拡充、総合文化会館への喫茶コーナーの設置、販売促進や製品の使用などの支援を

行っています。記念品としてふさわしく、量が確保でき、経費に見合う物があれば、積極的に検討します。また、製品紹介のためのパンフレットを作成し、各種団体に広報するなど支援を行います。

Q 小山町は自然環境に恵まれ魅力ある観光スポットも数多くあります。そこで観光客が選択できるコースを何コースか用意し観光めぐりを楽しんでもらいたいと考えます。そして町内の観光スポットをめぐる観光（タクシー・マイクロバス）の運行に取り組まれるべきと思います。地域の活性化や地域経済の発展につながると思うのですが町の所見を伺います。

A 町長 現在進められている箱根トレイルは、中高年の登山愛好家に支持され、関東圏のハイカーが増えています。町内の観光スポットをめぐる観光タクシーは、既に利用料金も設定されていますが、PR不足が十分利用されていないのが実状です。訪れる観光客やハイカーの皆さんに心から喜んでいただけるコースの提供、利便性に優れたバスの増発や路線確保、観光タクシーの増車など、関係交通会社と意見交換の場を設けたいと考えます。

観光客が、心いやされ、また訪れたいと思うような施策に努めていきたいと考えます。

● 一般質問 ●



▲役場職員の窓口での対応



田 田 豊 造

Q まちづくりに対する町長の姿勢は

Q 諫言の飛び交う組織の誕生が町の元気づくり

の源泉

町長の理想とするまちづくりは、唐の本村の「貞観の治」を例に示されたが、どのような意図があつたのか。

A 町長 「貞観の治」を例にあげたのは、町長一人だけでは何もできない、町長と役場職員とが互いに手を取り、肩を組み合いながら一丸となって進むところに本村の力が湧き出てくる。そのためには腹藏があつてはならないとの熱い思いがあつたからです。

職員の人事について、この3年で3回も異動した職員もあり、町長は職員に信頼を置いていないように映るが、施策実現のためにどのような考え

をもって人事配置に心掛けていたのか。

心身共に力強い人材を要とする配置を心掛け、気持ちの良い諫言の飛び交う組織の誕生が町の元気づくりの源泉になると信じています。

今年度の町予算は、緊縮型です。財政の健全化について気を配っていることは。

A 町長 財政の健全化については、最も意を注いでいるのは、不慮の災害等に備え、財政調整基金の上乗せをすることだと考えています。

町長は、就任前、ミニポートピア建設については反対であると

唱っていたが、その意志を貫徹できなかった理由は、側近のサービスからの損害賠償請求に町は毅然とした態度で臨んだと言えるのか。町に影響はないと言いつつその根拠は。

A 町長 反対を貫徹できなかった理由は、平成19年3月に締結された行政間協定が厳然たる行政行為として存続しており、それを断ち切ることに、町民を連累れにしかねないという深い危惧を常に考えていたからです。

町政への影響がない根拠は、既に国土交通省が設置許可をし、さらに町が関わる事務は事実上終わっているという事です。

● 一般質問 ●

平成19年度 普通会計バランスシート(貸借対照表) (単位:百万円)

資産(借方) 35,657		負債+正味資産(貸方) 35,657	
有形固定資産		固定負債	
学校・道路・公園など建設的な事業に使われたお金の総額	32,280	債務の支払い期限が翌年度以降のもの(退職金など)	9,235
投資など		流動負債	
出資金、貸付金、基金残高、退職手当組合負担金などを計上	2,532	債務の支払い期限が翌年度中に返済する地方債など	809
流動資産		負債合計 10,044	
現金や預金のほか消納されている町税などの総額	845	正味資産 25,613	
		資産形成のために使われた返済を必要としない資産(国や県の補助金や寄附など)	25,613
		国庫支出金	4,378
		県支出金	1,122
		一般財源など	20,113



岩田 治和

A **Q**

12月を目標に公表する予定

公会計にバランスシートを導入する考えは

※この表は平成13年3月に総務省により示された作成様式に基づき作成

Q バランスシートの導入は、現行の公会計方式に不足している、資産や負債に関する蓄積情報を明確にし、財政状況を長期的な視点から診断することができると考えます。

A 町長 町では、総務省方式によるバランスシートと行政コスト計算書を、平成19年度決算数値について算定し、平成21年の広報おやま1月号に掲載して、既に公表しました。

現在、「新地方公会計制度研究会報告書」において示した、新たな方式によるバランスシート、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の財務4表を整備することが求められています。

● 一般質問 ●



岩田 潤 泉



▲生土への遊歩道のある城山を望む

Q 顧問弁護士の活用について

田中晴男弁護士は無能であったのか否か

A 田中弁護士の見解を重んじる重んじないということはありません

Q 富島サービスの損害賠償請求訴訟は不当で、裁判は成立しないと、田中弁護士は言われたのに、その見解を重んじなかったのは何故か。5億円もの法外な不当な請求を起し、町政を攪乱し、町民を不安に陥れ、拳銃のほて、裁判放棄して逃げた相手に、せめて84万円の弁護士費用を請求すべきではありませんか。

A 町長 この件について田中弁護士には何回か相談をし、その見解は覚書第7条に注目し損害賠償責任は生じないであろうということでした。その見解を重んじる重んじないということではありませんか。

はなく、異法現室に対処方針について何ったときに話題に上った弁護士にお願ひすることになり、これに關しては深い思いはありませんでした。

弁護士費用の請求については、徹底的に争うことが町のためになるかどうか。一つの筋を通し、一定の誇りをもって、相手から請求放棄を引き出すことができただこと町はよいと判断をしています。

Q 金時公園遊歩道上へ下る町道1050号線は平成7年より18年までの間、道の刈り払いなど当然な管理は成されていましたか。

問題の金太郎道標の一方の文言を消去したのは旧産観職員であることを認めるべきです。いかがですか。

A 町長 町道1050号線は、平成7年より18年まで、道の刈り払いは実施していません。

次に金太郎道標の一部の文言を消去したのは、当時の産観職員であるかと岩田議員は思い込んでおられるようですが、見た者がいる訳でもなく、本当に誰が消去したかわかりません。

● 一般質問 ●



▲富士登山客で賑わう須走口5合目



鷹 嶋 邦 彦

Q

新東名高速道路建設計画に伴う

観光行政計画は

A

交流・定住人口の拡大に向け

活気ある計画策定を目指します

Q

新東名高速道路の建設計画が進んでいますが、小山パークエリア・スマートインターチェンジを有効利用した、これからの新しい観光行政を考へるべきだと思いますが、新総合計画では、どのような方針を示しているのか伺います。

A

町長

計画中の新東名高速道路にスマートインターチェンジが設置されれば、地域住民の利便性の向上はもとより、周辺の企業や富士登山、富士箱根トレイルなどの交通拠点となり、企業誘致や観光の面で町の活性化に大きく寄与するものと期待しているところで

Q

そのため策定中の総合計画では、道の駅などともに交通・観光の要所である交流拠点としてスマートインターチェンジを位置づけ、交流・定住人口の拡大に資するよう、活気ある計画策定を目指していきます。

Q

他町では、すでに光デジタル回線が

引かれて、快適な環境でのインターネットやデジタルテレビなどが普通に使用されるようですが、小山町の場合76局、78局については、未だにその計画がないと聞きます。光デジタル回線の敷設については、定住人口の拡大、企業立地計画にも大き

A

町長

本町全域に光デジタル回線を整備するには、採算性の面から民間事業者単独での設置は現実的に不可能と思われる。そのため整備においては、町が多額の費用を負担し、民間事業者に整備を働きかける必要があります。そうした課題があるにせよ、町民の生活や町の将来の元気づくりの要である企業活動などにとっても必要不可欠なものでありますので、策定中の総合計画にもその写真真をしつかりと反映していきたいと考えます。

— 私からの提言 —

佐藤 睦 (生土)

これからの子どもたち



小山町に生まれ育って42年。自然に囲まれた素晴らしいこの町で生活できている事に日々感謝してやみません。

そのような中、「少子化」という、避けては通れない問題に直面している事も事実です。

私には、二人の小学生の子どもがいますが、その事を肌で感じたのが運動会でのリレー種目でした。私の頃は、3クラスありましたので、クラスごとの全員リレーや対抗リレーが行われたのですが、今ではほとんど1クラスのため、全校生徒での紅白戦という形で行われています。

仕方がない事ですが、クラス対抗という醍醐味を知らない今の子どもたちは、少し可哀想かなと思ってしまいます。

幼稚園の統合の話などを考えると、小・中学校も近い将来そうならないとも限りません。町には少子化対策・子育て支援事業として、中学生まで医療費が無料になるという「こども医療費助成制度」があり、大変ありがたいと思います。

しかし、これからの子どもたちにはどのような環境が本当に幸せなのか・・・私たちにとっても、町にとっても真剣に向き合っていくべき課題ではないでしょうか。

議員視察研修

— 浜松市天竜区の合併後の現状は —

6月29日に、浜松市天竜区の合併後の現状について浜松市天竜区役所へ視察研修を行いました。

浜松市は、平成14年7月に「浜松市湖沼政令指定都市構想」を発表し、政令指定都市を目指した。17年7月に12市町村合併で人口約80万人、面積は約1千500㎢、

全国第2位の大規模都市の新「浜松市」が誕生した。その後19年4月には政令指定都市へ移行された。

今回の研修の主な内容は、天竜区地域振興策・地域格差対策や合併後のメリット・デメリットについて意見交換を行った。天竜区は、山間地域であり、過疎

高齢化による地域活力の低下に対応するため、テレビ共同受信施設デジタル対応事業や中山間地域振興計画に基づいた取り組みを推進している。また市民と区役所が協働して魅力あるまちづくりを目指すために、区・地域協議会を設置し、市民の声を反映させている。

行財政運営や住民生活に関するメリット・デメリットは様々あるが、まだ合併して5年で結論を出すのは時期尚早だという。



研修の様子(浜松市天竜区役所にて)

合併とは、戻ることのできない新たなまちづくりへの挑戦に思われた。
湯山鉄夫 記

皆さんの声を募集しています！

町づくりや子どもの教育のことなど、どんなことでも結構ですので、あなたの住所、氏名、電話番号を明記してメール、ファックスやお手紙で気軽にお寄せください。
ご希望いただいた内容は、広理委員会で選考し、ご本人に承知していただいた上で「議会だより」に、掲載することとします。

会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、ご覧ください。
なお、6月定例会の会議録は、8月下旬から閲覧できます。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

編集後記

第1回「金太郎産湯の里 湯船あじさいまつり」が6月19日、前日からの雨も上がり盛大に行われました。
湯船区、観光協会の皆様の用意周到な準備をいただき、幼稚園、保育園の園児をはじめ、多くの出演者の協力があり、成功に導いたものと思われまふ。
あじさいを愛でる行事は各地であります。湯田の脇に植えられ、里山を眺めながらの景観は、ここだけのものです。
このすばらしい景観を守り育てていかなら、地域の活性化を図ることは、重要政策の一つと考えます。

「龍に乗る人」担ぐ人、そのまた乗艇を作る人、ということわざがあります。
この三位一体があつてこそ成功の秘訣だと思ひます。(記 湯田豊彦)

